



よい子の作文

はじめて

町みん大会にさんかして



大総小学校三年

鈴木芳枝

皆さんの日常生活の中で、いろいろな出来事、生活上の知恵などありましたら、何でも結構ですのて企画課広報係(☎②1115)までご連絡ください。また、記事中に掲載されている写真をご希望の方、お譲りします。

作文は各小学校に依頼して掲載しているものです。原文のまま

十月十日は、町みん体育大会でした。朝から晴れてでしたが、私は少しいやな気持ちでした。わたしは、お母さんとお父さんの車に乗って、横芝中学校に行きました。中台の人たちがすわっている所へ行くと、もうたくさんの人があつまっていました。わたしは、十二番目の親子がよくパン食いきょうそうに出るこ

とになっていましたが、「はずかしくていやだな」と思っていました。少しすると、「十二番の親子なかよくパン食いきょうそう用意してください」と放送がありました。お母さんといっしょに、出発の所へいきました。パンは糸でむすんであると思っていいたら、おぼんに食パンを入れてあったので、「これなら、だいじょうぶだ」と

思いました。

お母さんにおんぶしてもらってピストルの鳴るのをドキドキしながら待ちました。「バーン」と鳴ったので、お母さんは走りだしましたが、びりの方でした。おぼんの所につくとお母さんが、食パンをちぎって私に食べさせました。でも、水もジュースもなく、急いで食べるので、口の中がいっぱいになり、のみこもうとしてもなかなかのみこめませんでした。のどもいたくなってしまうました。お母さんが、せなかをさすってくれたので、やっとの思いでのみこみました。となりの人は、もう食べおわりそうなので、いっしょけんめい食べたら、お母さんが、「終ったら、終わったっていいな」といったのでわたしは「うん」と

いいました。食べ終らないうちは走ってはいけません。やっとなら食べ終わったので、「おわった」といって、お母さんにおんぶしてゴールに向かいました。しかし、となりの二年生のお母さんにぬかされてしまいました。でも、二いだったのでよかったです。そして二いのカードをもらってしよう品のある所について、ぎるとノートをもらいました。お母さんに「お母さんが、おそいのがいけないんだよ」となん回もいきました。でも、お母さんは「一いはバケツだよ」といったので、二いでよかったですと思えました。

わたしは、うんどう会では、しようをもらったことがありますでしたので、とてもうれしかったです。

相談しよう

「苦情」心配ごと

みなさんの日常生活の中では、いろいろな役所の窓口と接触する機会があります。

この時、「処理結果が納得できない」「どうしたらいいかわからない」などの不満や疑問をお持ちの方はありませんか。こんな時、第三者的な公平な立

場で、みなさんと関係の役所との間に立って心配ごとを解決するのが行政相談委員の仕事です。

相談の内容としては、国鉄、住宅公庫、恩給、年金、健康保険、戸籍、農地、公害等数えあげるときりがあります。

お心当りの方はお気軽に相談して下さい。当町の行政相談委員は次の方です。

★行政相談委員

小沢春光(64才)

栗山三、三二三番地

☎(二)〇七六二



横芝句会十月例会

土屋 栗水
しそは実に親しき故の通り抜け

石川 奇水
骨つくろいに接着剤良し障子貼る

成田 懐子
波音の荒るる雨月となりけり

宇井 芝童
身に泌まぬ娘へも蝶の障子貼り

鈴木 南知
貼りかゝし障子閉められ留守の家

向後 雅子
紫蘇の実の触れて通れば香りけり

若梅あやめ
披講する句友はほろ酔菊を背に

藤代 ゆう
障子貼る母に及びもなきままに

木下石果子
障子貼り糊から蠅の這ひ上り

安井ゆづる
手馴れたるところで了る障子貼り

佐久間実枝子
噛んでみて紫蘇の実つむも母ゆづり

奥山 萌古
月待つや傘いらぬ程の雨となり

次回

日時 十二月四日(火)

兼題 「冬薔薇」「注連」